

平成29年度

行政協力委員と健康づくり普及員・母子保健推進員が決定



本年度の町の行政活動も、4月に新たにスタートしました。地域において、さまざまな活動や行事、生活全般にわたる相談などで皆さんを支える各種委員も、新たな担当を含めて取り組みを始めています。

行政協力委員(自治会長)は、皆さんと行政との橋渡しをする大切な役割を

本年度の町の行政活動も、4月に新たにスタートしました。地域において、さまざまな活動や行事、生活全般にわたる相談などで皆さんを支える各種委員も、新たな担当を含めて取り組みを始めています。

また、皆さんの健康な生活を支援する健康づくり普及員・母子保健推進員も、本年度の委員が決定しましたので併せて紹介します。

地域のまとめ役や町の行政活動への支援の役割を担い、活躍する委員へのご協力を、よろしくお願ひします。

- 行政協力委員(自治会長)

【問い合わせ】
総務課 庶務係 ☎(83)1221
- 健康づくり普及員・母子保健推進員

【問い合わせ】
子育て健康課 健康づくり係 ☎(84)5544

自治会	行政協力委員	副行政協力委員	健康づくり普及員・母子保健推進員
	自治会長	副自治会長	
町屋	佐藤 光弘	穂坂 薫、原田 政司	菊池 貴子
店屋場	東城 芳博	阿部 哲也、小宮 信吉	秋元 孝子
神山	諸星 日出男	佐々木 一人、北村 重治	橋本 成世
茶屋	内藤 政義	杉之間 英夫	片岡 雅世
河内	山口 弘行	和田 徹朗、奥野 三郎	間宮 弘子
中丸	守屋 孝幸	小澤 豊	椎木 宏
中央	辻村 進一	田中 清生	林 のり子
仲町	蕪木 恭雄	鍵和田 実、武 訓正	桐山 とも子
新松田	北村 仁	飯田 貞行	山口 麻里
谷戸	川口 英和	青木 國利	森谷 京子
中沢	内田 勝久	尾登 善則	石井 夕美子
沢尻	渋谷 賢一	稲橋 信克、辻村 章夫	佐藤 みどり・福島 恵
谷津	熊澤 茂	夏苺 俊光、澁谷 利晴	小野 律子
宮前	柴田 正光	内藤 敏博	内藤 麻理
かなん沢	矢後 幸一	込山 六郎	蝦名 喜代美
中里	諏訪 修一	井上 佳彦、瀬戸 伸一	飯山 紀子
城山	松島 明夫	平原 有郎、勝又 広幸	勝又 圭伊子・勝保 重子
仲町屋	松田 義雄	遠藤 誠二	武田 加代
萱沼	安藤 公一	安藤 博道	長谷部 雅子
弥勒寺	飯田 賢	下山 俊彦、横山 年勝、北川 英世	未定
中山	井澤 洋	熊澤 一二	
土佐原	松本 勇三	小宮 弘	北原 眞由美
宇津茂	岩田 勝	和田 文快	
大寺宮地	中津川 定雄	渋谷 充、芹澤 明	中津川 広美
虫沢田代	山岸 榮市	山岸 伸一、曾我 威雄	田村 貴美子
湯の沢	古舘 信生	澁谷 幹夫	末次 紀子

(敬称略)

《挑戦！まつだマイスター検定》

JR松田駅と小田急線新松田駅の間にある、地元足柄の名産品を取り揃えているお店は次のうちどれでしょうか。(答えは次号)

①まちの駅あしがら ②まちの駅まつだ ③みちの駅あしがら ④みちの駅まつだ

5/12 は 民生委員の日 児童委員の日

本年度、民生委員制度は100周年、児童委員制度は、70周年を迎えます

活動強化週間：5月12日(金)～18日(木)

心配ごと・悩みごと ひとりで抱えずに ご相談ください

民生委員児童委員は、地域住民の立場から、生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行う、つなぎ役です。

松田町では、現在、民生委員児童委員32人、主任児童委員2人で活動をしています。

民生委員児童委員の活動は、『地域の見守りを行う身近な支援』です。高齢者、障がい者、子育て中のご家庭、福祉的な支援を受けたい、子どもや子育てに関する相談など、どんなでも相談ができる身近な相談相手です。相談内容に応じて必要な支援が受けられるよう、専門機関(町や社会福祉協議会など)へのつなぎ役になります。

民生委員児童委員には、活動で得た個人の秘密を守る『守秘義務』があります。安心してご相談ください。

各地区の民生委員児童委員が分からない場合は、各地区の自治会長や町福祉課にお問い合わせください。

【問い合わせ】
福祉課 福祉推進係
☎(83)1226

風 くらかぜ

未来へツナグ、地域力

松田町長 本山博幸

青空に色鮮やかな鯉のぼりが悠々と泳ぐこの頃、町民の皆様におかれましてはご健勝のことと心からお喜び申し上げます。今年桜の開花が遅く、残念ながら町内の入園・入学式には間に合いませんでしたが、中旬には満開を迎え、町中を温かく包み込んでくれました。5月5日には寄自然休養村の若葉まつりが開催されます。永年手作りの祭りを続けてこられた地域の皆様に敬意と感謝を申し上げます。新年度に入り、各種団体の総会や行事等にお招きいただき、活動状況等を知ることが出来ました。そこで共通の課題となるのが、会員の高齢化と減少及び活動運営費の縮小です。私は、これまで町民活動の推進と協働を唱えてきましたが、課題解決に町民と行政が知恵と力を出し合い、町民満足度が高く、費用対効果の高い施策を実行し、成果と責任を共有する必要をより強く感じました。特に、協働の働という言葉には成果と責任があり、行政は協働活動の過程や結果に対する責任を取る覚悟を、町民は結果に対する責任を共有する覚悟が必要と思います。そこで、既存の各種団体に永く存続していただき、まだまだお元気の皆様の活躍をお支えしたいとの思いで、少額ですが今年度より地域力向上促進事業助成金を計上し、活動支援を始めます。

地域のためにご尽力いただいている皆様は、「必要なものは自分たちでつくり、自分たちでやる」という思いで伝統ある行事や事業を引き継いでいただいた、町にとってかけがえない方々であり、皆様無くして地域力を保つことは出来ません。今後も地域の輝きを失わないよう協働の意識で、未来にツナグ、地域力向上、施策に取り組んでまいります。